



'03-'04 グッドデザイン
グッドデザイン大賞受賞
(経済産業大臣)

PRIUS  HYBRID
SYNERGY
DRIVE

TO BE A GLOBAL STANDARD, NEW PRIUS DEBUT.

1997年に誕生した世界初のハイブリッドカー、プリウスは、5人乗り量産乗用車で世界トップレベル*の燃費、

高い走行性能、ソリッドなプレミアムフォルムなど、様々な先進性を携えて、2003年生まれ変わりました。

“走り”と“環境”。ともすると矛盾しがちな要素が共存する今度のプリウス。

その類いまれな融合、プリウスというハイブリッドカーを、未来に向けて広く世界に普及させたい。

その想いから、プリウスの生みの親は自ら語り、そして、海外のエンジニアやデザイナー達には率直な意見を求めました。

近い将来、このプリウスが世界のスタンダードカーと言われることを願いながら。

*10・15モード走行(国土交通省審査値)35.5km/l (Sグレード、ただしS“ツーリングセレクション”を除く)。国内をはじめ欧米でもトップクラス。03年9月現在自社調べ。



NEW PRIUS DEBUT.



Photo:プリウス G "ツーリングセレクション"。ボディカラーはシルバーマタリック<1C0>。 ■写真は撮影用にブルーのライトをあてています。

走りが気持ちいい、そして、地球想い。 それがハイブリッド・シナジー・ドライブ

「スムーズで力強い走り」と、プリウスのベースともいえる「世界トップレベル^{*1}の環境性能」。それを同時に満たそうと掲げられた開発コンセプトが、ハイブリッド・シナジー・ドライブ。新搭載されたハイブリッドシステム「THS II^{*2}」は、モーターパワーとエンジンパワーのsynergy（シナジー：相乗）効果により、かつてない革新的な走りを叶えました。ここでは、チーフエンジニアの井上雅央が、その全く新しいコンセプトや開発秘話について語ります。

初代プリウスが誕生に至った経緯。

クルマがこの世に誕生しておよそ100年が経っています。その間クルマは社会に普及し、個人にとっても行動範囲を飛躍的に広げ、夢を与えてきました。しかし、経済・社会の発展とともに資源・環境問題は深刻化。この環境の変化に対して、クルマが無縁であるはずがない。トヨタはそんな想いから97年にプリウスを開発しました。

新型プリウスの開発意図。

いま、世界にはおよそ7億5千万台^{*3}のクルマが走っているといわれています。そのなかで、ハイブリッドカー・プリウスは約12万台^{*3}。私は12万台も?とは思いません。いまの地球環境を考えるとまだまだ少ない、もっと普及して欲しい。そのためには、もっともっとお客様に愛されるプリウスにならなくてはならない……。そこで、環境性能だけでなく、走行性能、先進性にもこだわったのです。

新型プリウスのアピールポイント。

やはり、「眺めているだけ気持ちいい」、「運転して気持ちいい」、「操作して気持ちいい」という、クルマがもたらす“気持ちよさ”において進化した、ということです。特に走りの気持ちよさについて、モーターの大幅なパワーアップにより走行性能は飛躍的に進化しました。軽量化についてもかつてないほどの工程を重ね、全ての部品において無駄がないかを設計者達と一点一点確認しました。また、35.5km/ℓ^{*4}という世界トップレベル^{*1}の低燃費も実現し、環境への配慮という面でも進化しています。「Hybrid Synergy Drive」というコンセプトによって実現した「力強い走り」と「世界トップレベル^{*1}の環境性能」。この両立で生まれた“気持ちよさ”を、一人でも多くの方に体験していただきたいと思います。

次世代のドライビングスタイルを目指して。

今回の新型プリウスを考えたとき、まず、2010年のグローバルスタンダードカーを目指そうと決めました。そのときに、10年後もキーをひねってエンジンをかけ

るだろうか、シフトレバーの大きさや操作方法はそのままなのか、車庫入れは簡単にならないだろうか…とさまざまな案を出しました。そこから、プッシュボタンスタート、エレクトロシフトマチック、インテリジェントパーキングアシストなどが生まれました。ですから今現在、もっとも未来に近いクルマはプリウスではないかと思います。**今後のプリウス、ハイブリッドカーについて。**

実は「プリウス」という名前は、ラテン語で「～に先だって」という意味です。その名のとおり、常に時代の先をみつめたクルマづくりに努めてきました。ですから、これからのプリウスはどうなっていくのか?と考えると、たとえばステアリングもアクセルもオートコントロールかもしれない、タイヤがなくなって磁気で浮いているかもしれない……。私たちは今後もその時代の最先端をプリウスに搭載していきたいと思います。また、ハイブリッドカーの未来についてですが、実はいま注目を浴びている燃料電池車もフューエルセルとモーターとバッテリーを組み合わせた“ハイブリッド”です。ですから、トヨタは「ハイブリッド」をキーテクノロジーとして捉え今後ますます開発を進めていきます。

これからの車社会について。

さきほど申しましたが、今およそ7億5千万台^{*3}のクルマが走っているといえども世界の人口から見ると2割程度にすぎません。よって今後経済の発展とともに急激にマイカーを持つ人が増えると思われるので、自動車産業界はより社会に受け入れやすいクルマの開発を、もっと精力的にやらなければならないと思っています。その精神からも、私たちは「THS II^{*2}」の技術を独り占めするつもりはありません。地球環境のためにもっと普及して欲しいから、他社への技術提供もいとわれないと考えています。

*1.10・15モード走行（国土交通省審査値）35.5km/ℓ（Sグレード、ただしS“ツーリングセレクション”を除く）。国内をはじめ欧米でもトップクラス。03年9月現在自社調べ。
*2「THS II」はTOYOTA Hybrid System IIの略。
*3.03年9月現在自社調べ。
*4.Sグレード（S“ツーリングセレクション”を除く）。10・15モード走行（国土交通省審査値）。



Photo:プリウスG " ツーリングセレクション"。ボディカラーはシルバーメタリック<1C0>。





From GERMANY

F1 car and PRIUS, so DIFFERENT and yet so ALIKE!

F1カーとプリウスの意外な共通点。

自動車レースの最高峰に位置するF1。そこで戦うF1カーの影には、日々研究・開発を重ねるエンジニアをはじめとした大勢のスタッフたちがいます。そんな“世界最速の走り”に情熱を注ぐ彼らの目に、新型プリウスはどのように映るのでしょうか。そこで、ドイツ・ケルンにあるトヨタF1チーム本部TMG (トヨタ・モータースポーツ有限会社) を訪問し、様々な質問をしてきました。



TMG：トヨタ・モータースポーツGmbH
ドイツ・ケルンにあるトヨタのF1チーム本部。約3万平方メートルのファクトリーの中にレースルーム、組立ルーム、エンジンテストルーム、などの最新鋭の設備がある。30カ国以上から550人以上ものスタッフが集まり、日々開発に取り組んでいる。

F1カーにとって空力は最も重要な要素の一つだと思います。新型プリウスも空力性能を向上させるため、風洞実験を重ねました。TMGでは空力性能を上げるためにどのような実験を重ねていますか？

▶ルネ・ヒルホルスト氏(エアロダイナミクス〈空力〉担当) —————
ここTMGでもF1カーの空力性能向上を目指して日々風洞実験を重ねています。実験方法を簡単に言うとベルトコンベアの上に1/2スケールのモデルを吊るして置き、時速200キロメートル以上の速さでベルトを回し、そこに2メガワット以上のファンを回して風を流します。風と動く地面により、実際の走行状態にほぼ近い環境の中でデータを収集できます。また、車体は上から吊るして置くことで様々な角度でのCD値を出せます。F1カーは一人乗りであるし、居住性などは考慮しなくてもいいですが、プリウスは心地よさをも維持しながらの空力向上だから、開発者は苦労したことでしょう。

プリウスは“燃費効率アップ”と“走行性能”の向上を目指しましたが、F1との共通点は？

▶以下、ルカ・マルモリーニ氏(エンジン部門 ゼネラル・マネージャー) —————
共通点は多いですね。大きく言って、いま“効率”を求めるといことは“性能”そのものですからね。“燃費”という面でもF1のレース戦略において、同じ燃料で10周より11周できた方が有利です。また、エンジン等の各コンポーネントをコンパクトにして軽量化と運動性能向上を図り、プリウスは燃費向上を、F1はスピードアップを狙う。軽量化への取り組みという面でも共通点があるといえますね。

今回のプリウスは様々な電子制御技術を導入しました。特に世界初^{*1}の予防安全技術「S-VSC^{*2}」機構を設定。VSC(ビークル・スタビリティ・コントロール)、モーターTRC(モータートラクションコントロール)、ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)などと電気パワーステアリングを統合制御しています。F1においてはドライバーの能力を補助する電子制御技術は禁止されているものも多いと思いますが、あえて、プリウスの技術のなかで採用したいものはどれですか？

F1にはレギュレーション(規定)があるから何とも言えませんが、いま安全性というのはとても重要なテーマです。だからアクシデントを予防する技術は規定に触れなければ是非欲しいですね。クラッシュしたクルマを素早くよけたり、雨の日もすべらずスピードを維持するなど課題はたくさんありますから。F1も電子制御技術は進化していますが、プリウスの方がはるかに洗練された技術を持っていると思いました。それと、“インテリジェントパーキングアシスト”^{*3}はすごく画期的なシステムですね。運転操作のアシストはドライバーの負担を減らすという意味で、F1の世界にも影響を与えていると思います。

もしF1のレギュレーションが変更になり、ハイブリッドエンジンも選択可能となったらどのように戦いますか？

まず個人的な意見になってしまいますが、エンジンに“何を使ってもいい”というレースは面白そうですね。多分今すぐにハイブリッドエンジンに変わることはないと思いますが、F1の新時代として考えたときに、進化した技術を取り入れていこうという考え方には共感できます。それと、プリウスのハイブリッドシステムの中で「回生ブレーキ^{*4}」という技術はすごく興味があります。今後クルマの世界でキーになる技術だと思います。



■緑に囲まれたエントランス。
ルネ・ヒルホルスト氏 エアロダイナミクス(空力)担当 オランダ出身
■F1界で最大級の規模を誇る風洞実験装置。
■エンジンアーケショップ(様々なタイプのエンジンを一度に組み立てられる)。
■ルカ・マルモリーニ氏 エンジン部門 ゼネラル・マネージャー イタリア出身
■エンジンテストベンチ(開発中のエンジンをテストする)。
■エンジンテストベンチのコントロールルーム。
■松浦幸三氏 エンジン部門 ポート開発担当



*1.03年9月現在自社調べ。 *2.S-VSC:Steering-assisted Vehicle Stability Control→P24 *3.システムが操舵を支援する世界初(03年9月現在自社調べ)の車庫入れ、縦列駐車支援システム。→P16 *4.制動時にモーターを発電機として作動させ、運動エネルギーを電気エネルギーに変換してバッテリーに回収するシステム。→P23



PRIUS captures the heart of creators in HOLLY WOOD.

プリウスが、ハリウッドのクリエイター達を捉えた。

新型プリウスのもうひとつの大革新。それは近未来カーともいべき先進装備と未来的スタイル。その先進性について、グローバルに活躍する精鋭に様々な角度で評価をしてもらおうと、ロサンゼルスにあるクリエイティブ・テクノロジーの制作会社「C/TEK LLC」取材しました。

“イマジネーションの世界”と“市販車”というジャンルの違いはあっても、クリエイターの熱い想いは共通する部分がたくさんあるようです。



新型プリウスのスタイリングテーマは三角形をモチーフにした「トライアングル モノ フォルム」。ご覧になっていた
だいた第一印象はどうか。

まずスタイリングの第一印象ですが、テクノロジーと未来感がフィットしているものに見えます。さらに、空力の風の流れに合わせてデザインされたものであることも一目見てわかります。全体のモチーフは三角形とのこと。その三角の頂点のところは最も風が流れるんですね。さらに、フロント部分がコンパクトに仕上げられていますが、デザインを追求しながらこの大きさにまとめ上げる技術は秀逸ですね。また、フロントサイドのスマールウィンドウやリヤのリアウィンドウなど、細かい部分まで計算されていますね。私たちがクルマのデザインをしています。だから風洞実験の重要性やそのプロセスも分かるので、いま敬意を持って眺めています。本当にスタイリングだけ見ても、ハイグレードな印象です。

スマートエントリー&スタート、ワンタッチのプッシュボタンスタート、軽い操作感のエレクトロシフトマチックと未来感あふれる装備を搭載して生まれ変わったプリウス。このシンプルでスマートな運転操作の感想を聞かせてください。

とても便利であらゆる面においてアクセスしやすいクルマですね。次のレベルのテクノロジーを携えたクルマだと思います。しかもただ便利になったというよりも、運転することが楽しくなりそうだなという印象を受けました。私（エリック・アディックス氏）は趣味でレースに出ているのですが、私だけのレーシングカーにこのプッシュボタンスタートがあったらいいのと思いました。クルマの世界では様々な先進装備が次々に登場しますが、これだけの色々な機能やシステムをひとつのクルマにまとめて搭載していることに感心しました。それらのシステムに加えて、トータルデザインや室内空間などを総合すると、技術とデザイン、それぞれ2つの先進性が調和した、つまりバランスのよいクルマだと思います。

システムがステアリングの操舵を支援して駐車をアシストする世界初（03年9月現在自社調べ）のインテリジェントパーキングアシストや、坂道でアクセルコントロールが少なくするインテリジェント走行制御など様々な先進技術を搭載しました。あなたが考える未来カーに近い技術はありますか？

まず、世界初のインテリジェントパーキングアシストはやはりすごいですね。見たことも聞いたこともありません。私達は昨年SF映画に登場する近未来カーをデザインしましたが、そのクルマのコンセプトは全自動です。プリウスはその近未来カーに一步近づいたと言えますね。このインテリジェントパーキングアシストとGPSをコンビネーションさせていけば、さらに未来のクルマになっていくと思います。それにしても、今回のプリウスの価格設定には本当におどろきました。

プリウスをデザインしたクリエイター達は「空力性能と居住性を両立させながら、低燃費を図り、プリウスとしてどんなシルエットが美しいか、カッコイイか、みんなの夢をカタチにしようと試行錯誤を重ねました。」と言っています。ではエンタテインメントにおける近未来カーは、どのようなプロセスで、またどんなポリシーを持ってデザインしていくのですか？

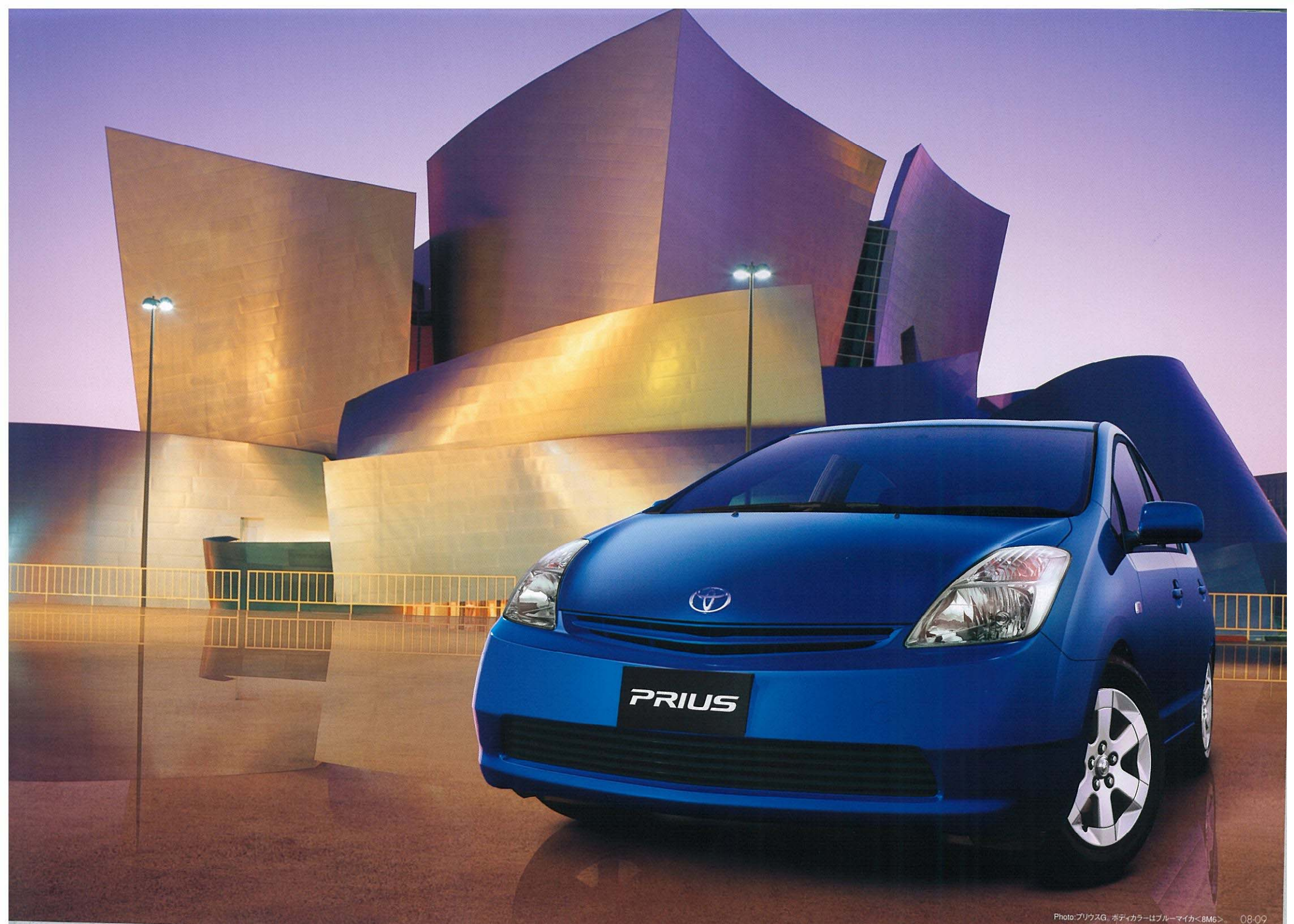
一言で言うと、情熱です。クルマに対する情熱がなければいけません。そのクルマひとつひとつの“デザインの目的”に情熱をつなげていくのです。エンタテインメントにおけるクルマも市販車も常に挑戦をしています。その時にデザインを情熱的なものに突き詰めながらも、エンジニアが求める、また、映画であれば監督が要求するプロダクトやコンセプトに合致しなければなりません。だからくじけない情熱が必要なのです。今回のプリウスのデザインを見ると、エンジニアとデザイナーの情熱が激しそうで、双方の要求を満たすことが難しかったでしょうね。

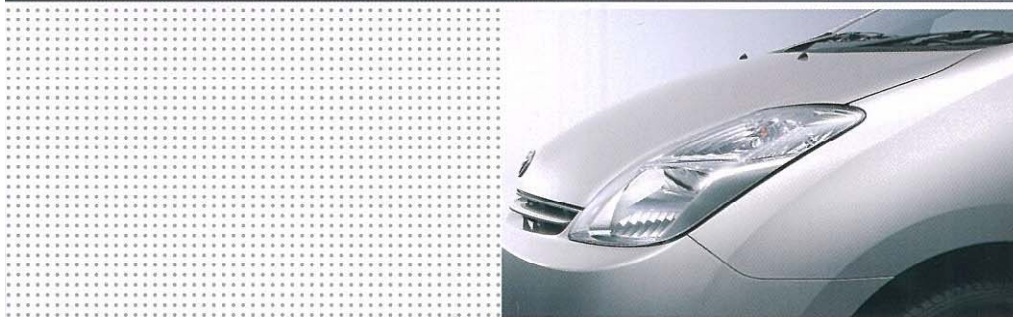
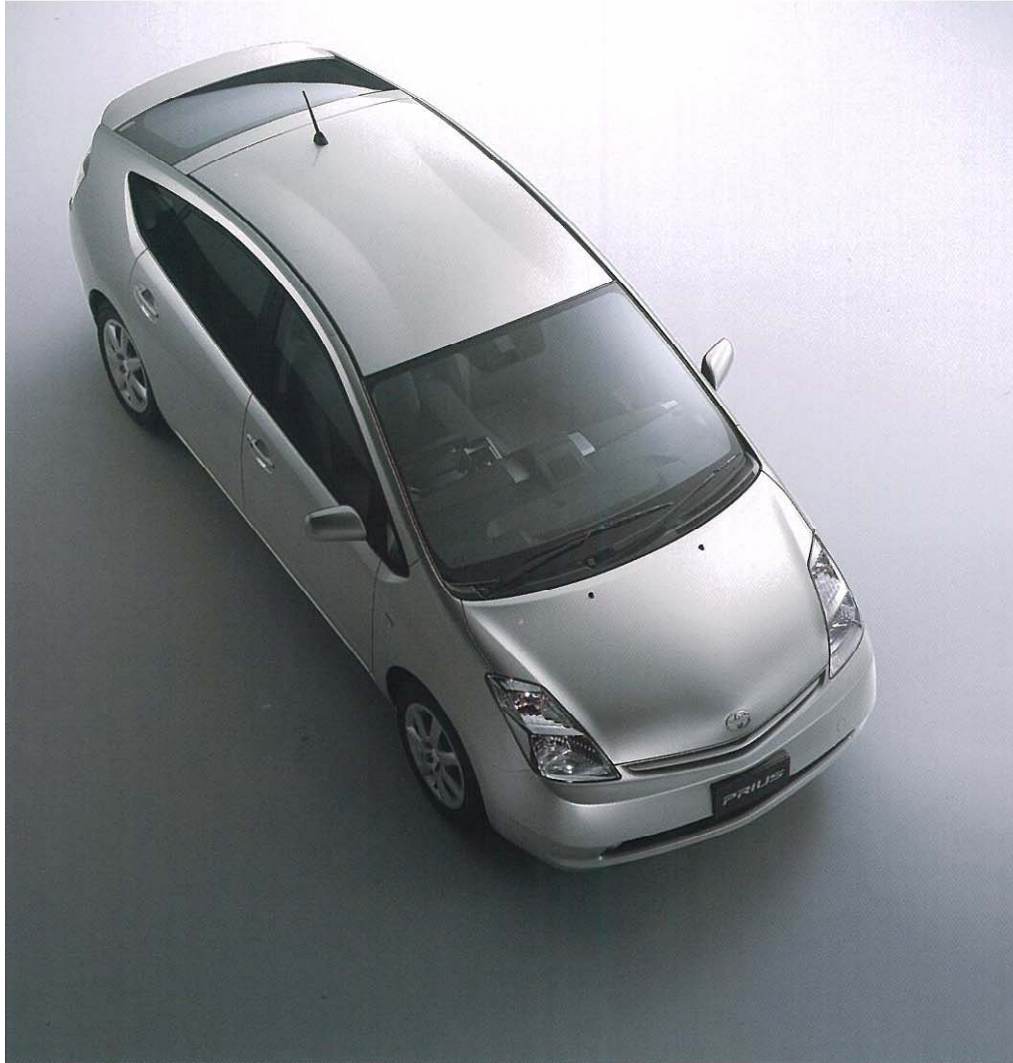


■社長のエリック・アディックス氏。プロダクトデザイナーである。因制作局長のダレン・R・F・シュリーク氏。彼は応用物理のエンジニアである。
 ■C/TEKの本拠地。このビルの上層に大型のファクトリーがある。
 ■昨年SF映画に登場した、全自動近未来カーの模型。
 ■日々研究を重ねているファクトリー内の一部。発表前の機密プロダクトが多いためマスクが中に入るとは殆どないという。

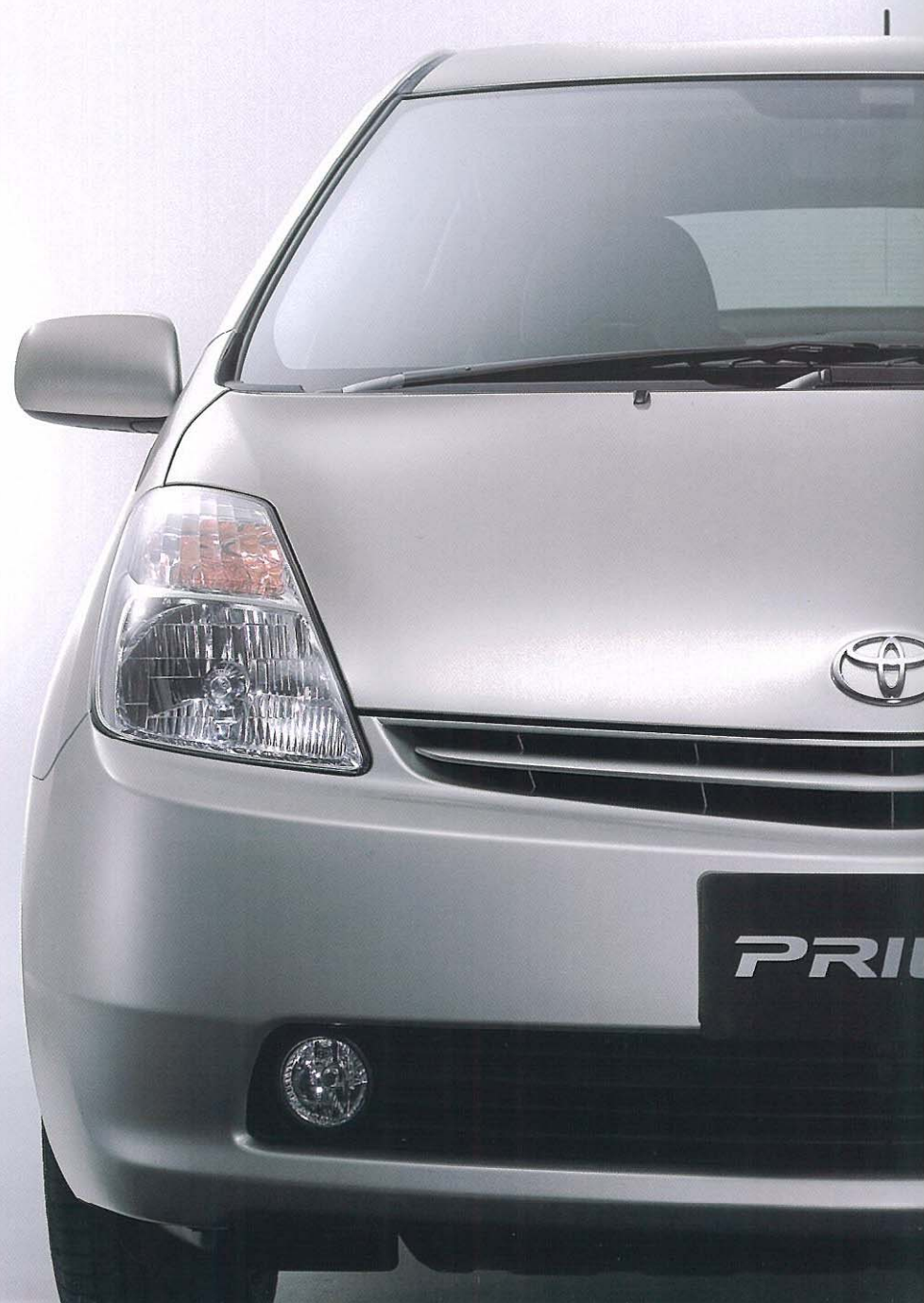
プリウスには、常に時代の最先端の技術を搭載しようというコンセプトがあります。あなたが考える2050年、2100年の最も進んだクルマとはどのようなイメージですか？

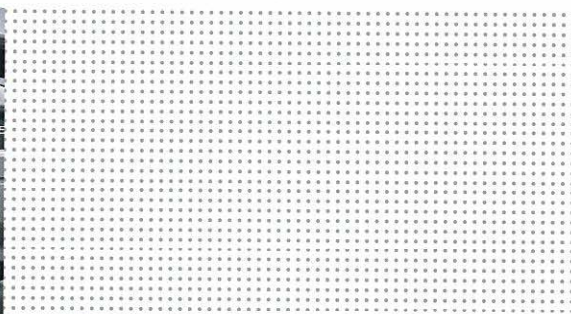
外見も機能ももっと人間的なクルマに、つまりインタラクティブ（相互作用）なクルマになるでしょう。自分がクルマの一部になったような、たとえば服を着ているのと同じような感じ。自分が動けばクルマも動く、自分が右を向けばクルマも右に曲がるようなシステムです。使う素材も今のメタルとは全く違うもので軽く、強いものが用いられるようになると思います。またエンジンもマイクロチップが大きくなったぐらいのものになり、クルマのデザインが今よりもはるかに自由なものになると思います。そう考えると未来のプリウスが今から楽しみです。





羨望のスタイリングは、走りを感じさせる空力フォルム。





艶やかさと鋭さが共存し、リヤには未来が漂う。



ユニバーサル・デザインを体現した、先進のコクピット。

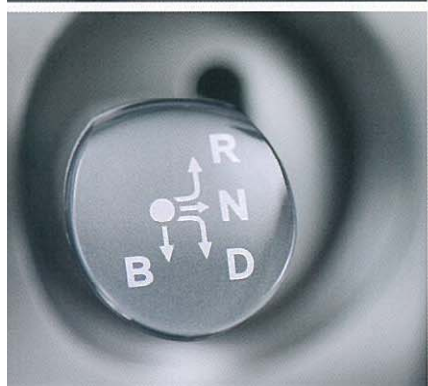




Photo (P12上): プリウスSの計器盤。内装色はアイボリー。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV (エレクトロマルチビジョン) とインテリジェントパーキングアシスト (カラーバックガイドモニター機能付) はセットでメーカーオプション。インテリジェントパーキングアシスト (カラーバックガイドモニター機能付) はメーカーオプション。インテリジェントパーキングアシスト (カラーバックガイドモニター機能付) はメーカーオプション。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV (エレクトロマルチビジョン) とインテリジェントパーキングアシスト (カラーバックガイドモニター機能付) はセットでメーカーオプション。Photo (P12~13): プリウスG "ツーリングセレクション" の計器盤。内装色はグレー。SRSサイド＆カーテンシールドエアバッグ、JBLプレミアムサウンドシステムはメーカーオプション。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV (エレクトロマルチビジョン) とインテリジェントパーキングアシスト (カラーバックガイドモニター機能付) はセットでメーカーオプション。■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。■写真は機能説明のためにボディの一部を切替したカットモデルです。■画面はハメ込み合成です。



Photo (P14~15) :プリウスG “ツーリングセレクション” の室内。内装色はグレー。SRSサイドカーテンシールドエアバッグ、JBLプレミアムサウンドシステムはメーカーオプション。
G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV（エレクトロマルチビジョン）とインテリジェントパーキングアシスト（カラーバックガイドモニター機能付）はセットでメーカーオプション。
Photo (P15上) :プリウスSの室内。内装色はアイボリー。SRSサイドカーテンシールドエアバッグはメーカーオプション。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV（エレクトロマルチビジョン）と
インテリジェントパーキングアシスト（カラーバックガイドモニター機能付）はセットでメーカーオプション。インダッシュ6連装CDチェンジャー+1MD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ（6スピーカー）はメーカーオプション。
■写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。



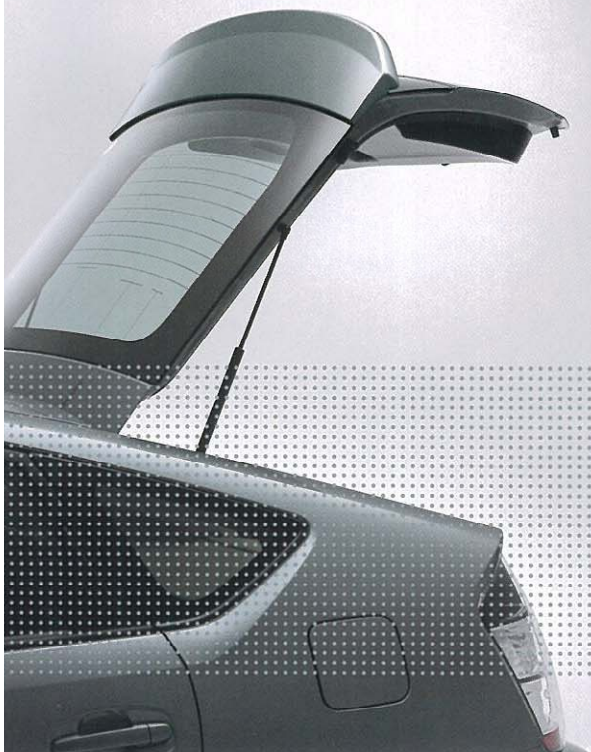
シンプルな中に、モダンなアクセントが溶け込んだ室内。





Comfortable equipment

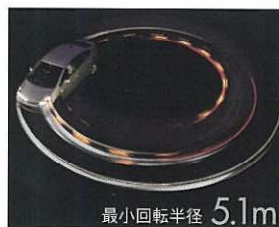
ゆったりとした広さと質感だから、
ここからくつろげるスペース。収納力も抜群です。



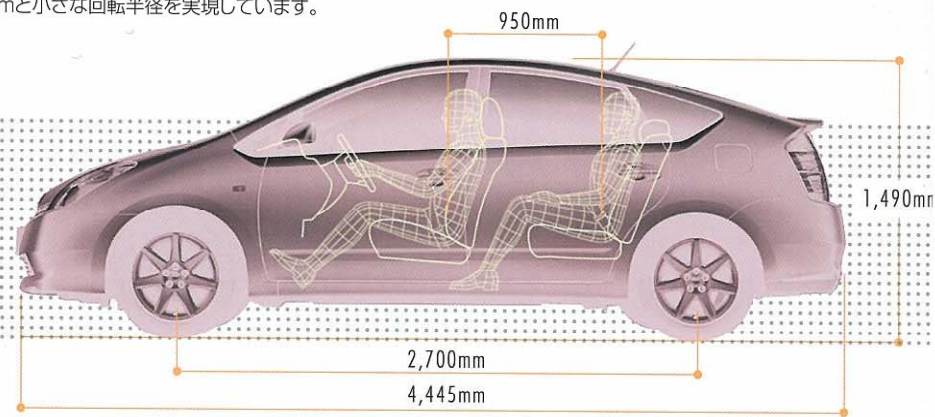
パッケージング ■スタイリッシュなエアロボディに、ゆったりとした室内空間。

とりまわしのよいコンパクトなボディながら、ホイールベースは15cm延長しゆとりの室内空間を実現しました。

また、タイヤのワイド化なども行いながら、5.1mと小さな回転半径を実現しています。



最小回転半径 5.1m



シートアレンジ 足を伸ばしてつろいだり、荷物が多いときや長尺物があるときはリヤシートを倒したりと、自由にアレンジができます。 *標準状態以外のシートアレンジにすると走行できない場合やご注意いただきたい項目があります。必ず取扱書をご覧ください。



フロントシートフルフラット



リヤシート片側フラット



リヤシートフルフラット



サイドウォークスルー
コンパクトなエレクトロシフトマチックの採用で、運転席と助手席の移動が可能。



ラゲージルーム バックドアの採用と収納できるトノカバーや折りたためるデッキボードの組み合わせで、多彩な用途に対応します。6:4分割可倒のリヤシートを倒せば、さらに広いフラットな室内を確保できます。



トノカバー

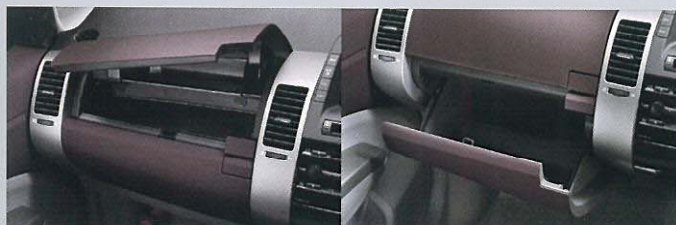


デッキボード



トノカバー収納時

収納スペース 大容量の大型コンソールボックス。助手席アッパーボックス&グローブボックスは、運転席からも使いやすい形状のプッシュオープン式。



助手席アッパーボックス&グローブボックス



オーバーヘッドコンソール



大型コンソールボックス(カップホルダー&マルチボックス&アンダーボックス)



リヤカップホルダー



AUDIO・NAVI・G-BOOK

楽しく、そして快適なドライブを演出する
充実のハイスペックシステムです。

マルチインフォメーション機能 ■運転中のエネルギーの流れなどもリアルタイムで表示します。

7インチワイドディスプレイにハイブリッドシステムの車両情報(エネルギーモニター画面、燃費画面)をはじめ、空調やオーディオのコントロール画面など各種機能を表示するシステムです。

G-BOOK対応DVD*1ボイスナビゲーション付EMV(エレクトロマルチビジョン) ■高速・高機能。トヨタの新ネットワークサービスにも対応。

7インチワイドディスプレイ採用、高速・高機能なDVDボイスナビゲーションをはじめ、空調、オーディオ、テレビなどのコントロール機能、平均燃費などの車両情報表示を集約したインテリジェントなシステムです*2。DVDナビゲーションはシステムの高速化により、経路探索、スクロール、地図の拡大・縮小などの処理時間を大幅に短縮。市街地を立体的に表示するリアル市街図など利便性を高めています。また、タイムリーな交通情報を入力できるVICS(FM多重)*3を内蔵。また、Bluetooth対応携帯電話によるハンズフリー機能を採用。さらに、トヨタの新ネットワークサービス“G-BOOK”、緊急通報サービス“ヘルプネット”*4、有料道路自動料金支払いシステム“ETC”車載器*5(販売店装着オプション)をはじめとする、さまざまな機能拡張にも対応します。



■接続先によっては、画面が異なる場合があります。



メニュー



情報メニュー*6



目的地設定



リアル市街図



高速分枝案内



レーンリスト



オーディオ ■コクピットとの一体感が美しいデザイン。ハイスペックオーディオのJBLも選べます。

静粛性の高い室内にふさわしい、上質な音響空間を実現。特にJBLプレミアムサウンドシステムは、徹底した音響解析に基づいて車内に9スピーカーをレイアウト。さらに、EQ特性を専用チューニングすることにより、臨場感豊かな音響特性を実現しました。また、CD-TEXT*7対応で、ディスクタイトルとトラックタイトルをEMV部に文字表示ができる他、MDLP*8の再生も可能です。ボリュームやオーディオソースの切り替えは、ステアリングスイッチでも可能です。



① [JBLプレミアムサウンドシステム]

インダッシュ6連奏CDチェンジャー+MD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ(9スピーカー)

② インダッシュ6連奏CDチェンジャー+MD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ(6スピーカー)

③ CD+AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ(6スピーカー)

*1.DVD:Digital Versatile Disc *2.安全のため走行中は一部操作できない機能があります。TV放送、FM多重文字放送は安全のため走行中は画像が消え、音声だけとなります。ただしFM多重文字放送は目次、交通情報、気象情報、緊急情報に限り、走行中も表示されます。 *3.VICS(道路交通情報通信システム)は提供情報の変更等により、一部の情報が表示されなくなる場合があります。予めご了承ください。その場合、対応版のナビ地図ソフトをご購入いただくことで、より正確に情報を表示することが可能となります。(詳しくは販売店におたずねください。)ラジオを聞いている場合(除くNHK-FM)VICS(FM多重)受信はできません。 *4.(株)日本緊急通報サービスが提供するサービスです。ご利用には「携帯電話およびハンズフリーキット」と「ヘルプネット利用契約(有料)」が別途必要です(※販売店装着オプション)。詳しくはヘルプネット会員規約をお読みいただくか、販売店におたずねください。 *5.有料道路自動料金支払いシステム“ETC”車載器はETCシステム(ETCレーンまたはETCカードリーダー)のサービスを開始している有料道路料金所以外ではご利用になれません。利用可能な料金所は道路事業者またはそのホームページ等にて確認いただくか、販売店におたずねください。 *6.契約内容により、画面が異なります。 *7.DISCTITLE、TRACKTITLEのみ表示。ARTISTNAMEは表示されません。 *8.Mini Disc Long Playmode(MD搭載モデルのみ)



G-BOOKでカーライフはもっと安心、便利に。

先進の情報ネットワークサービス「G-BOOK」の出現によって、クルマは社会と常時つながる存在へ変わってゆきます。新しいドライブの楽しさを、あなたに。

簡単操作



車内での利用を考えた 簡単・便利インターフェイス

タッチパネルによる簡単操作に加え、「音声認識操作」に対応。さらに、情報を合成音声で読み上げる「自動音声読み上げ」機能も採用しました。よく利用する機能はあらかじめ「マイクエント」に登録しておけば、走行中でも簡単な操作で呼び出せます。

端末操作が苦手な方も安心 オペレーターサポートサービス*

お客様に代わってオペレーターが情報検索やナビの目的地設定を代行。端末操作は苦手という方も、安心して多彩なサービスをご利用いただけます。

※オペレーターサポートサービスをご利用になるには、専用通信機器「DCM」とハンズフリー機能および別途料金が必要となります。(サービス時間 8:30~20:30)



接続方法

選べる2タイプです。[販売店装着オプション]

■専用通信機器「DCM」による接続

最大144kbpsの高速通信。
定額料金で「使い放題」の料金プランがうれしい。

専用通信機器「DCM」

※DCM (Data Communication Module)



■「ハンズフリーキット+お客様の携帯電話」による接続

いつもの携帯で気軽にG-BOOK生活がスタート。

ハンズフリーキット

※ハンズフリー機能とG-BOOKオンラインサービスで利用できる携帯電話については、販売店にて必ずご確認ください。ハンズフリーで電話する場合はクルマを安全な場所に停車させてご利用ください。



利用料金

専用通信機器「DCM」接続なら、月々1,280円^{※1}〜で「使い放題」。

G-BOOK 利用料金	事務手数料	
	2,000円 ^{※2}	
	DCM 接続 ^{※3※4} (通信費は利用料金に込み)	携帯電話接続 ^{※4} (通信費は別途お客様負担)
月払い	1,380円	450円
年払い	15,360円 (月あたり1,280円)	4,920円 (月あたり410円)

●利用料金は、2003年8月1日現在の価格で、予告なく変更される場合があります。●表示価格には、消費税は含まれておりません。

※1 DCM接続の年払い料金を月割りにした場合の料金です。

※2 新規契約時の金額です。「車両変更」、「G-BOOK対応カーナビの交換」および「携帯電話接続からDCM接続への変更」に伴う事務手数料は、1,000円となります。

※3 G-BOOK対応カーナビからご利用時の通信費を含みます。

※4 パソコン・PDA・携帯電話などからご利用時の通信費は、別途お客様負担となります。

安心、便利、楽しいを実現する豊富なコンテンツ。G-BOOK オンラインサービスの一例です。

■セーフティ&セキュリティ
ロードアシスト24
オペレーターによる24時間サポートで、万が一のトラブルにしっかり対応。

■ライブナビゲーション
G-Walkerグルメ
豊富な情報から現在地の近くにあるレストラン、カフェなどを探して、ナビで出発。

■インフォメーション
NHKニュース情報
クルマの中で最新ニュースをチェック。

思わぬ路上トラブル時は、車両の位置情報をロードアシスト24デスクが把握、JAFロードサービスの手配を取り次ぎます。旅行先でのトラブルも安心です。

最新タウン情報とナビをドッキングさせたサービス。「近くのおすすめ店10軒」では自転車位置情報から近い順にお店をご案内。エリアやジャンル別の検索機能も便利です。

幅広いジャンルの最新ニュースをお届けします。音声読み上げ対応なので走行中も便利です。

■コミュニケーション
GSスケジュール
クルマの中でスケジュールをチェック。

パソコンやPDAのスケジュールをクルマで確認できます。音声読み上げにも対応しています。

G-BOOK オンラインサービスについて詳しく紹介した「G-BOOKカタログ」をご用意しています。販売店スタッフまでお問い合わせください。尚、コンテンツについての詳しい紹介は<http://g-book.com>でもご覧いただけます。

●G-BOOK対応カーナビおよび通信機器の種類によっては、サービス内容が異なる場合があります。

●走行中は安全のため操作や画面表示が制限されます。また、電波状況によりサービスがご利用いただけない場合があります。

Dealer Option

N A V I O P T I O N



ETC車載器*1 (3ピースタイプ)
●有料道路の利用時に料金所(入口・出口)、検札所の通過をスムーズに行うために自動で料金を精算するシステムです。

アンテナ



VICISビーコンユニット*2*3
●アンテナ一体型の小型ビーコンユニットです。ルート案内中に渋滞をキャッチすると、自動で回避ルートを探します。

*1.有料道路自動料金支払いシステム「ETC」車載器はETCシステム(ETCレーン又はETCカードリーダー)のサービスを開始している有料道路料金所以外ではご利用になれません。利用可能な料金所は道路事業者またはそのホームページ等にてご確認ください。

*2.VICS(道路交通情報通信システム)は提供情報の変更等により、一部の情報が表示されなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。その場合、対応版のナビ用地図ソフトをご購入いただくことで、より正確に情報を表示することが可能になります。(詳しくは販売店におたずねください。)

*3.ラジオを聞いている場合(除くNHK-FM) VICS(FM多重)受信はできません。

■装備類の詳細な設定につきましては、P32の主要装備一覧表でご確認ください。



Hybrid Synergy Drive

ハイブリッド・シナジー・ドライブとは、
世界最高の環境性能を追求すると同時に“走りの気持ちよさ”を
飛躍させることを目指した開発コンセプト。



「THSII」*

「THSII」は、ハイブリッド・シナジー・ドライブのコンセプトに基づき、
モーターパワーとエンジンパワーのシナジー（相乗）効果で、
クルマの性能に革新をもたらします。

*THSII:TOYOTA Hybrid System II

圧倒的な燃費 ■世界トップレベル*1となる35.5km/ℓ*2という圧倒的な低燃費を実現。

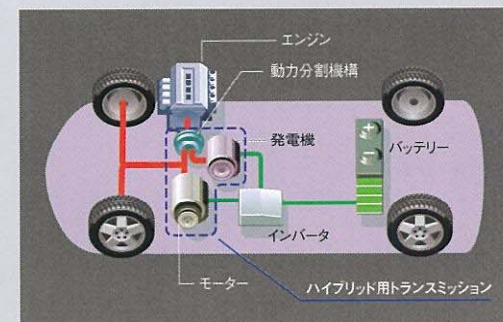
ハイブリッドシステム「THSII」は、クルマ全体のエネルギー効率を追求したハイブリッドエネルギーマ
ネジメント制御を進化させ、さらに、回生ブレーキ制御の進化などにより、従来のプリウスに比べさらなる
高効率化を実現しました。また、空力性能の向上、世界初となる電動インバータエアコンやボディ・
足まわりの軽量化もこの低燃費化に貢献しています。

*1.10・15モード走行（国土交通省審査値）35.5km/ℓ（Sグレード、ただしS“ツーリングセレクション”を除く）。国内をはじめ欧米でもトップクラス。03年9月現在自社調べ。
*2.Sグレード（S“ツーリングセレクション”を除く）。10・15モード走行（国土交通省審査値）。

進化したハイブリッドの力強い走り ■飛躍的に向上した、発進・加速性能。

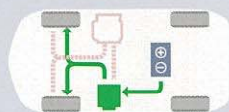
モーター性能を高めるために新設した可変電圧システムによって、制御電圧は最大500Vにアップ。それ
によりモーター出力が従来型の33kWから50kWへと約1.5倍に向上。併せて発電機の最大回転数を
6,500r.p.m.から10,000r.p.m.まで拡大したことで、低速から中速域のモーターへの供給電力が増加。
さらに高速域は、より高回転、高出力化したエンジンによりシステム出力の向上を実現。発進加速性能、追
越し加速性能ともに、まさに次世代のハイブリッドカーと呼びこふさわしい感動的な走りを可能にしました。

35.5km/ℓ



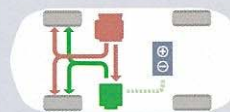
【ハイブリッドシステム動作モード】

エンジン モーター



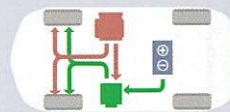
発進・低速走行時

主にモーターが駆動。バッテリー
からの電力でモーターを回します。



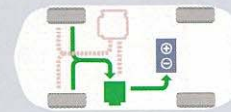
通常走行時

モーターとエンジンを使って、最も
燃費の良い走りを考えながら走
ります。



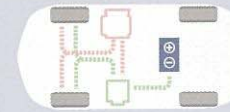
急加速時

バッテリーからも電力をモーター
に供給。（可変電圧システムで
パワーアップ）。最大限のパワー
を引き出し力強く加速します。



減速・制動時

ブレーキをかけるとモーターを発
電機として利用。回収したエネ
ルギーをバッテリーに蓄えます。



停車時

エンジンもモーターも自動的に
停止。アイドリングによる無駄な
燃料消費をなくし、CO₂も排出さ
れません。

■バッテリー充電量が少なくなると、停車してもエンジンの運転は継続され、発電機を駆動させてバッテリーを充電。もちろん、外部からの充電は一切必要ありません。

トランスミッション

トランスミッションは、動力分割機構、発電機、モーターおよび減速機等で構成されています。また、エンジン回転数と発電機およびモーターの回転数（車速に比例）を無段階に変化させながら増速、減速、後退できる電子制御式の無段変速の機能を備えています。さらに、トランスミッションへのボールベアリングや低フリクションオイルの採用などにより、フリクションロスを約30%低減しています。

【新ハイブリッドシステムTHSII出力性能表】

エンジン	最高出力 (kW[PS]/r.p.m.)	57[77]/5,000
	最大トルク (N・m[kg・m]/r.p.m.)	115[11.7]/4,200
モーター	最高出力 (kW[PS]/r.p.m.)	50[68]/1,200~1,540
	最大トルク (N・m[kg・m]/r.p.m.)	400[40.8]/0~1,200
システム*	最高出力 (kW[PS]/車速km/h)	82[111]/85以上
	85km/h 出力 (kW[PS])	82[111]
	最大トルク (N・m[kg・m]/車速km/h)	478[48.7]/22以下
	22km/h トルク (N・m[kg・m])	478[48.7]

*エンジンとモーターにより、システムとして発揮できる出力ならびにトルク(トヨタ算出値)

プリウス専用1.5LエンジンBEAMS 1NZ-FXE VVT-i*1*2

すでに定評ある1NZ-FXEをベースにさらなる動力性能・燃費性能・エミッションの向上を図りました。高膨張比サイクルや可変バルブタイミング機構VVT-iの最適化、徹底した摩擦ロスの低減。また、ハイブリッドシステムとの協調制御の改良により燃費向上を、また、最高エンジン回転数を5000r.p.m.に上げ、出力向上をそれぞれ達成しました。同時に排出ガスも大幅に低減した結果、前回のプリウス同様国内最高水準の「超低排出ガス車*3」の認定を国土交通省より取得しました。

*1.BEAMS(ビームス):Breakthrough Engine with Advanced Mechanism System(社会との調和を図った同排気量クラス世界トップレベルのエンジン)

*2.VVT-i:Variable Valve Timing-intelligent(連続可変バルブタイミング機構)

*3.平成12年基準排出ガス75%低減レベル(国土交通省低排出ガス車認定制度)。

高出力ハイブリッドバッテリー

ニッケル水素バッテリーは、内部の電流の通り道を従来の1箇所から2箇所に増加させることでバッテリーの内部抵抗を低減。電池の高性能化を図ったことで、さらなる軽量化を達成しました。

インバータ

可変電圧システム採用で、高電圧化(最大500V)を実施。バッテリーの直流電流とモーター・発電機駆動用の交流電流を最適に制御。今回新たに制御駆動回路を統合化し、パワー回路部の小型化を実現しました。



プリウス専用パワーユニット
(エンジン、トランスミッション、インバータ)

高出力ハイブリッドバッテリー

モーター

従来システムのTHSと同じサイズのまま33kWから50kWへと出力を向上させ、約1.5倍のパワーアップ。重量、容積あたりの出力を世界最高水準まで高めています。

発電機

回転数領域を6,500r.p.m.から10,000r.p.m.まで拡大させました。この高回転化により中速域までの供給パワーが大幅に増加し、中・低速域の加速性能が向上しました。

回生ブレーキ

制動時にモーターを発電機として作動させ、走行する車両の持っている運動エネルギーを電気エネルギーに変換してバッテリーに回収する回生ブレーキシステムを採用しています。またECB(電子制御ブレーキシステム)との組み合わせにより、より効率の良い回生を実現しました。

スムーズで賢い走り ■つなぎめのない、なめらかで力強い走りがさらに進化。

インテリジェント走行制御

タイヤと直結した高出力が高応答のモーター制御システムを用いて、低速から高速、定常運転から全開加速まで最適駆動力をインテリジェントに制御します。ドライバーの要求にシームレスに回答してくれる運転アシスト制御システムです。

効果1 坂道発進制御 坂道での発進時に車両が後退するのを防ぎます。

効果2 登坂制御 坂道の勾配や積載状況などを自動的に検知。走行状況に応じてドライバーの負担が少なくなるように最適制御を行います。

効果3 モーターTRC*制御 雪道など滑りやすい路面でタイヤのスリップを抑制し、滑らかな車両挙動で安全走行をアシストします。

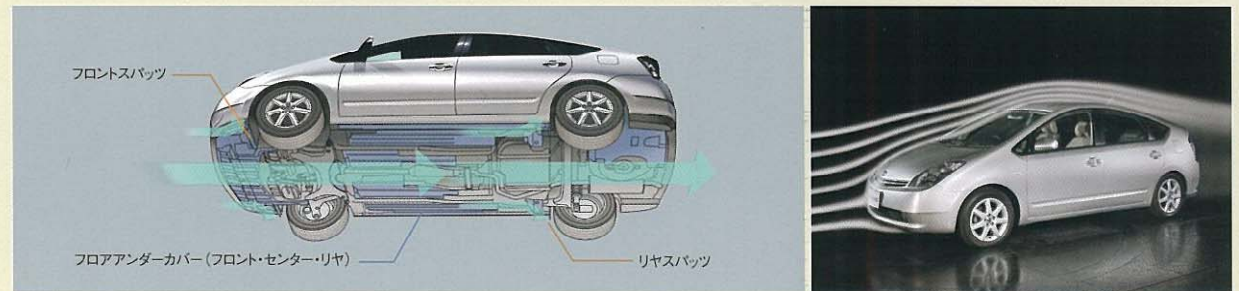
*モータートラクションコントロール

クルーズコントロール

「THSII」を用いたクルーズコントロールを採用。ハイブリッドコンピューターでクルーズコントロール要求を算出し、要求に合わせてモーターとエンジンの駆動力を最適に組み合わせて定速走行を制御します。

空力性能向上 ■量販車トップクラスのCd値を獲得。

スタイリングは風洞実験を重ねて迎り着いたトライアングルモノフォルム。フロントフェンダライナ下部とリヤタイヤ直前にはスパッツを設定し、前方からの風の流れを向下向きに変えることで、タイヤに当たる風の抵抗を低減しました。それにより空気抵抗を表すCd値は0.26を獲得。また「ツーリングセレクト」は、大型リヤスポイラーや床下にカバーを設定することで空気の乱れをさらに減少。走行性能の向上と、低燃費化に大きく貢献しています。



フロントスパッツ

フロアアンダーカバー(フロント・センター・リヤ)

リヤスパッツ



Safety

さまざまな電子制御技術が搭載されたプリウスだから実現する、新時代のテクノロジーともいえる安全性能。

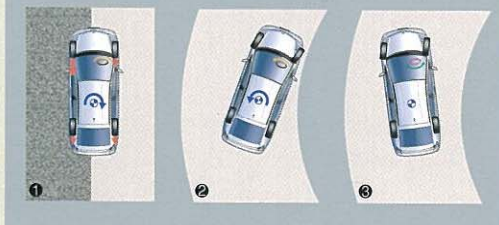


予防安全 ■さまざまな予防安全システムを搭載。

世界初¹⁾ S-VSC (Steering-assisted Vehicle Stability Control)

従来のVSC²⁾制御の機能を内包したシステム。電気パワーステアリングと協調し、操舵トルクアシスト量を制御する世界初の予防安全機構。車両のすぐれた走行安定性・操縦性を実現しました。

【VSCと電気パワーステアリングの協調制御から生まれる様々な機能】



① またぎ制動時制御

滑りやすさの異なる路面を左右輪でまたいで急制動した場合、左右の制動力差から車両が偏向しハンドル操作が必要になることがあります。協調制御では容易にハンドル操作ができるように操舵トルクアシストを行います。

② オーバーステア時制御

急なハンドル操作や滑りやすい路面でのコーナリング時に後輪の横滑りが発生した場合、横滑りを抑制する方向に容易にハンドル操作ができるように操舵トルクアシストを行います。

③ アンダーステア時制御

急なハンドル操作や滑りやすい路面でのコーナリング時に前輪の横滑りが発生した場合、わずかにハンドルが軽くなる方向に操舵トルクアシストを行い、車両が限界状態であることを知らせます。さらにハンドルを切り込むと前輪の横滑りが一層大きくなるため、わずかにハンドルが重くなる方向に操舵トルクアシストを行い切り過ぎ防止を促します。

*1. 03年9月現在自社調べ。

*2. VSC:ビークル・スタビリティ・コントロール 障害物を回避するために急激なハンドル操作をした場合など、横滑りしそうな状況をセンサーが感知。自動的に各輪のブレーキ油圧とエンジン・モーターを最適に制御します。

ECB^{*1)} (電子制御ブレーキシステム)

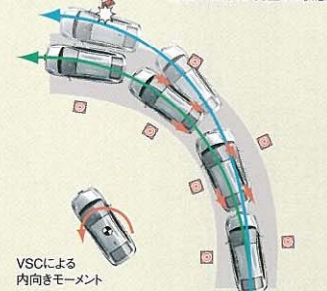
4輪独立制御の油圧ブレーキと前輪モーターによる回生ブレーキ。2種類のブレーキの制動力を最適に配分しながら、ドライバーの意図した通りの制動力を発生します。また、ブレーキペダルの操作量をセンサーで検知して制御。また、車両の走行状態に応じて4輪独立制御油圧ブレーキ、EBD^{*2)}付きABS、S-VSC (Gグレード)、モーターTRC^{*3)}、ブレーキアシストを統合制御し、車両安定性を積極的に確保する高度なシステムを内蔵しました。

■最適なブレーキ制御を行うため、モーター音が聞こえる場合があります。

*1. ECB: Electronically Controlled Brake System *2. EBD (電子制動力配分制御): Electronic Brake force Distribution *3. TRC: Traction Control

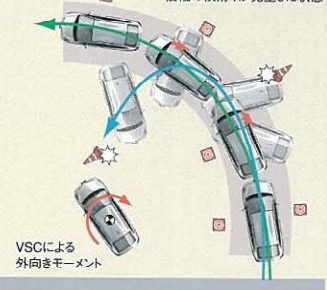
VSC説明図

前輪の横滑りが発生した状態



VSCによる
内向きモーメント

後輪の横滑りが発生した状態



VSCによる
外向きモーメント



- ① ディスチャージヘッドランプ (オートレベリング機能付)
- ② LED式ハイマウントストップランプ (スポイラー付)
- ③ リヤコンビネーションランプ
- ④ UVカットグリーンガラス フロント・サイド (撥水機能付)
電動格納式ドアミラー (リモコンカラード)/フロントサブウィンドウ

衝突安全 ■万一の衝突時に安全な客室空間を確保する、信頼の性能。

全方位コンパティビリティボディ構造 (SUV対応) “GOA” *1

車重・車高の異なるクルマ同士の衝突時における共存を追求し、小さいクルマの衝突安全性能確保と、大きいクルマの加害性低減によって双方の安全性を図るコンパティビリティの概念を取り入れて“GOA”を進化させました。具体的には1500ccクラスのプリウスに比べ、重量車であるセルシオやさらに条件が厳しいSUV (ランドクルーザープラドなど) を用いた前面・側面・後面からの衝突試験を実施。同排気量クラス*2世界トップレベルの衝突安全性能を追求しています。 *1.GOA=Global Outstanding Assessment:クラス世界トップレベルを追求している安全性評価。 *2.03年9月現在自社調べ。

歩行者傷害軽減に配慮したボディ構造

フード、フェンダー、フロントバンパー、カウル等に衝撃吸収構造を採用。歩行者の頭部・脚部などに加わる衝撃を緩和する構造にしました。

デュアルステージSRS*エアバッグ (運転席・助手席)

デュアルステージSRSエアバッグ (運転席・助手席) は、シートベルトを補助する装置です。必ずシートベルトをご着用ください。万一の際、前方からの強い衝撃に対して作動し、シートベルトの動きと合わせて運転席・助手席乗員の頭や胸の重大な傷害を軽減します。なお、衝突時の衝撃が弱い場合は作動しません。

*SRS [乗員保護補助装置] :Supplemental Restraint System

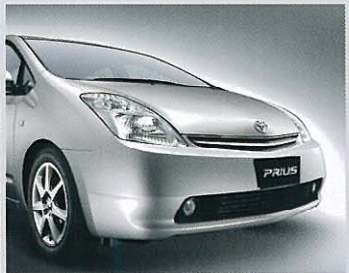
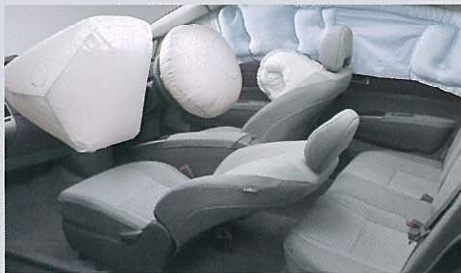
■チャイルドシート等を助手席に装着するときは、後ろ向きにしない、前席にはプリウス専用の純正シートカバー以外はとりつけないなどご注意ください項目があります。必ず取扱書をご覧ください。

SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ

車両側方からの衝突によって強い衝撃を受けた場合、フロントピラー・ルーフサイドレール部に配されたエアバッグが、前後席乗員頭部側面を覆うように広がり乗員の頭部の衝撃を緩和します。また、シートに内蔵されたサイドエアバッグは、胸に対して衝撃を緩和します。なお、衝突時の衝撃が弱い場合は作動しません。

頭部衝撃緩和構造

万一の際、衝突の衝撃によって乗員の頭部等を保護するため、フロントピラー、センターピラー、ルーフサイドレールの内部に衝撃を緩和するエネルギー吸収構造を採用しています。

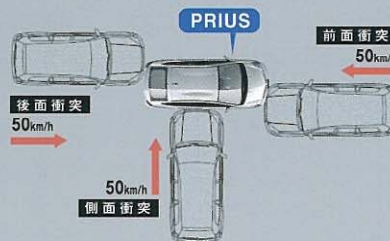


デュアルステージSRSエアバッグ (運転席・助手席) / SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ
 ■写真は機能説明のためにSRSエアバッグが作動した状態を再現したものです。
 ■SRSサイド&カーテンシールドエアバッグは、実際の衝突時には衝突側のみ膨らみます。

歩行者傷害軽減に配慮したボディ構造

ISOFIX対応チャイルドシート固定状態 (G-Child ISO tether)

【全方位コンパティビリティボディ構造】



【衝撃吸収ボディ&高強度キャビン “GOA”】



■サイドアビームは機能説明のために着色したものです。

シートベルトリマインダー (運転席・助手席)

運転席・助手席のシートベルトを着用しないまま走行した場合、警告灯と警告音でお知らせします。

プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト

前席には万一の前面衝突時に強い衝撃を感じると瞬時にシートベルトを巻き込み拘束効果を高めるプリテンショナー機構、そしてシートベルトに一定以上の荷重がかからないようにすることで、乗員の胸部への衝撃を緩和するフォースリミッター機構を採用しました。プリテンショナー機構は衝突時の衝撃が弱い場合は作動しません。

ISOFIX*1対応チャイルドシート固定専用バー+トッテザーアンカー (リヤ左右席)

ISOFIX対応の固定専用バーに加え、チャイルドシートの背もたれ上を固定するトッテザーアンカーも標準装備。

*1.国際標準化機構 (ISO) 規格のチャイルドシート固定方式。

■プリウス用としてISOFIXの認可を受けたチャイルドシート&ベビーシートのみ装着可能です。

■チャイルドシートとベビーシートは販売店装着オプションです。なお、ご使用に関しては、ご注意ください項目があります。必ず取扱書をご覧ください。

また、プリウスとしてのISOFIX対応車以外のチャイルドシート&ベビーシートはシートベルトでの固定となります。詳しくは販売店におたずねください。

【プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト】





Ecology

人、地球、未来までみつめた、
“環境想いのクルマ”であることが使命です。



「プリウスの環境対策」

“環境想いの”のコンセプトも進化。
燃費はもちろん、環境負荷の低減をはじめ、様々な挑戦をし、
また高い評価をいただいています。

「室内のフロアマット(ラグジュアリータイプ)*は、
環境にやさしいトヨタエコプラスチックを使用。
さとうきびやとうもろこしなどの、
再生可能な植物資源から作りました。」

*販売店装着オプション。

使用済み車両のニッケル水素バッテリーは、
全国規模のリサイクルシステムにより
回収、リサイクルされます。

「トランクマットには、
回収したペットボトルを粒状化した
“再生PET*材”を使用しました。」

*PET:Poly Ethylene Terephthalate

「フルシートカバー*には、
“まゆ”に含まれている天然タンパク質
“セリシン”を使ったフレシール加工生地を使用。
アトピーや赤ちゃんなどの敏感なお肌でも、
安心してリラックスできます。」

*販売店装着オプション。

トータルクリーンをめざして

トヨタは環境との調和を図った「トータルクリーン」の理念のもと、「開発・生産・使用・廃棄」のすべての過程で人と地球にやさしいクルマづくりを進めています。生産分野はもちろん、1998年には設計・開発分野において、自動車メーカーとして国内で初めてISO14001*1の認証を取得。また全販売店が「環境ガイドライン*2」に沿った活動を展開するなど、多面的な角度から環境保全に取り組んでいます。

*1. ISO14001:国際標準化機構 (ISO) が1996年9月に制定した環境マネジメントシステム (EMS) の国際規格。環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体組織などに認証が与えられます。
*2. トヨタ販売店が自主的な環境対応に取り組む指針。



ライフサイクルで環境負荷を低減

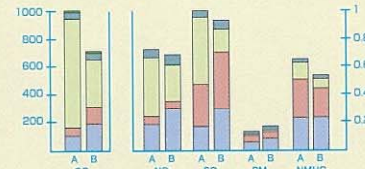
LCA (ライフサイクルアセスメント)*を実施

走行段階だけでなく、生産から廃棄までの全段階で排出するCO₂や大気汚染物質の総量を旧型車に比べて低減しています。

*LCAは資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

<LCA実施結果>

■ 素材製造 ■ 部品製造 ■ 走行 ■ メンテナンス ■ 廃棄
PM: 粒子状物質 (Particulate Matter)
NMHC: 非メタン炭化水素 (Non Methane Hydrocarbons)
A: 同クラスガソリン車 B: プリウス



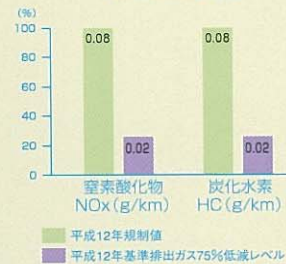
■ 自動車の生進走行距離10万km (10年) を、10-15モードで走行した場合の結果です。
■ トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、評価結果は指数で示しています。また、CO₂はtonレベル、それ以外の項目はkgレベルで排出されますので、指数を列に示しました。

都市環境のクリーン化のために

排出ガスのグリーン化…三元触媒、VVT-iの採用、空燃比補償装置、点火時期制御装置、燃料蒸発ガス抑止装置などの最適化により、排出ガスのグリーン化をすすめています。全車、NO_x (窒素酸化物)、HC (炭化水素) 排出量において国内最高水準の「超-低排出ガス車*」として、国土交通省より認定を受けています。

* 平成12年基準排出ガス75%低減レベル

<排出ガスの低減>



地球温暖化を防ぐために

燃費向上…温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載しています。さらにVVT-iをはじめとする数々の先進技術を投入、ハイブリッドシステムのパワーコントロールユニット内に可変電圧システムを採用、車両重量の軽量化などを図り、優れた低燃費を達成しています。省冷媒化…エアコンの冷媒にはオゾン層を破壊しない代替フロンHFC134-aを採用。さらに、冷媒の充填量そのものを低減しています。

グリーン税制に対応

全車、超-低排出ガス適合車*1かつ低燃費車*2としてグリーン税制に対応しています。

*1. 平成12年基準排出ガス75%低減レベル。
*2. 2010年燃費基準達成車両 (重量区分ごと) に定められた燃費目標値をクリアした車両。省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。



リサイクルと環境負荷物質低減のために

解体性を向上

材料として使える部品を取り外しやすくするためワイヤーハーネス等に「リサイクル用引上げ用紐」「易解体アース端子」等を設定しました。

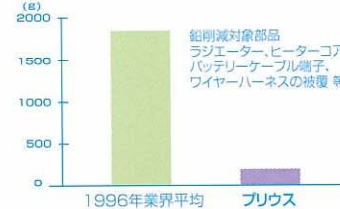
リサイクル性を向上

前後のバンパーやインストルメントパネルなど内外装品にリサイクル性に優れた樹脂TSOPを使用。また、リサイクル防音材RSPP*などのリサイクル材を積極的に採用しました。*RSPP: Recycled Sound-Proof Products

環境負荷物質の低減

ラジエーター、ヒーターコア、ワイヤーハーネス被覆などから鉛をなくし、鉛使用量を2006年以降1/10以下 (96年比) に低減するという業界目標を早期に達成しています。

<鉛使用量の低減>



■ TSOP (Toyota Super Olefin Polymer) 使用部位
■ TPO (Thermo Plastic Olefin) 使用部位 ■ リサイクル材使用部位

トヨタ プリウス 環境仕様

車両仕様	車両型式	ZA-NHW20		
エンジン	型式	1NZ-FXE		
	総排気量	(l) 1.496		
	燃料	ガソリン		
駆動装置	駆動方式	2WD		
	変速機	自動無段		
環境情報	燃料消費率 (国土交通省審査値) (km/l)	30.0♦*1	33.0♦*2	35.5♦*3
	CO ₂ 排出量 (g/km)	79	71	66
	参考	♦印の燃費値の車両は2010年燃費基準をクリアしています。なお、2010年燃費基準と「超-低排出ガス車」(国土交通省)の基準を同時にクリアする車両は低燃費・低公害車の普及促進規制の適合車です。また、2010年燃費基準と低排出ガス車の基準を同時にクリアする車両はグリーン購入法にも適合しています。		
	主要燃費向上対策	可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、自動無段変速機、ハイブリッドシステム		
排出ガス	低排出ガス車認定制度のレベル	超-低排出ガスレベル		
	10-15モード	CO	0.67	
	規制値またはレベル値(g/km)	HC	0.02	
		NOx	0.02	
	参考	8都府県*4、LEV-6指定*5		
車外騒音	適合騒音規制レベル	加速騒音規制値: 76 dB-A		
	エアコン冷媒使用量 (冷媒の種類)	450g (代替フロン HFC134-a)		
環境負荷物質の使用量		鉛	96年時点の1/10以下 (自工会2006年目標達成)	
		水銀	極微量*6	
		カドミウム	極微量*6	
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	(TSOP)	フロントバンパー、リアバンパー、サイドマッドガード、カウルルーバ、フェンダーサイドプロテクタ、床下空力カバー、内装材 (ビラーガーニッシュ、ドアトリム、ルーフサイドインナーガーニッシュ) 等	
		(TPO)	ルーフモジュール	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり		
	リサイクル材の使用 (RSPP *7)	あり	ダッシュサイレンサー、カーペット層上げ・消音材	
	(リサイクルPP *8)	あり	デッキボックス	
	(再生ペット材)	あり	トランクマット	

*1. 車両重量1270kg以上で195-55R16タイヤ付の場合 *2. 車両重量1270kg以上で185-65R15タイヤ付の場合 *3. 車両重量1260kg以下の場合 *4. 8都府県低公害車指定制度。
*5. 京阪神6府県市低排出ガス車指定制度。*6. 車両性能を確保する上で必要最小限の部品に限定使用 *7. RSPP: Recycled Sound-Proof Products *8. リサイクルPP: Polypropylene



“TOURING selection”

プリウスで、もっと走りを感じたい。スポーティな魅力を放つ、こだわりのアイテムを満載した“ツーリングセレクション”。



PRIUS G “TOURING selection”

Photo:プリウスG“ツーリングセレクション”。ボディカラーはシルバーメタリック<1C0>。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV (エレクトロマルチビジョン)とインテリジェントパーキングアシスト (カラーバックガイドモニター機能付)はセットでメーカーオプション。



PRIUS S “TOURING selection”

Photo:プリウスS“ツーリングセレクション”。ボディカラーはブラック<202>。

“TOURING selection”の専用装備

- ①ディスチャージヘッドランプ (オートレベリング機能付) ②フロントフォグランプ ③195/55R16タイヤ&アルミホイール ④大型リヤスポイラー ⑤リヤバンパースポイラー ⑥パンク修理キット*1 ●専用チューンドサスペンション ●フロアアンダーカバー (フロント・センター・リヤ)*2
*1.スベアタイヤをご要望の際には、販売店装着オプションにてご注文ください。*2.P23空力性能向上参照。



Wide Selection



Photo:プリウスG “ツーリングセレクション”。ボディカラーはスーパーホワイトII<040>。内装色はグレー。SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ、JBLプレミアムサウンドシステムはメーカーオプション。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV（エレクトロマルチポジション）とインテリジェントパーキングアシスト（カバーバックガイドモニター機能付）はセットでメーカーオプション。

PRIUS G “TOURING selection”

メーカー希望小売価格*1.....257.0万円
北海道地区メーカー希望小売価格*2.....259.2万円

Photo:プリウスS “ツーリングセレクション”。ボディカラーはブルーマイカ<8M6>。内装色はグレー。リヤフォグランプは寒冷地仕様とセットでメーカーオプション。リヤワイパーは寒冷地仕様選択時にメーカーオプションが可能となります。インダッシュ6連素CDチェンジャー+MD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ（6スピーカー）はメーカーオプション。



Photo:プリウスG。ボディカラーはブロンズマイカメタリック<4S2>。内装色はアイボリー。G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV（エレクトロマルチポジション）とインテリジェントパーキングアシスト（カバーバックガイドモニター機能付）はセットでメーカーオプション。

PRIUS G

メーカー希望小売価格*1.....241.0万円
北海道地区メーカー希望小売価格*2.....243.2万円

Photo:プリウスS。ボディカラーはダークレッドマイカメタリック<3Q3>。内装色はアイボリー。

*1.沖縄地区は価格が異なります。*2.北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。■画面はハメ込み合成です。■価格はスペアタイヤ（もしくはパンク修理キット）、タイヤ交換用工具付の価格です。■価格にはオプションおよび取付費は含まれません。■価格はメーカー希望小売価格で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは販売店におたずねください。◆保険料、税金



PRIUS S "TOURING selection"

メーカー希望小売価格*1.....231.0万円
北海道地区メーカー希望小売価格*2.....233.2万円



PRIUS S

メーカー希望小売価格*1.....215.0万円
北海道地区メーカー希望小売価格*2.....217.2万円

Body Color Variation



スーパーホワイトII<040>



ホワイトパールクリスタルシャイン<062>*



シルバーメタリック<1C0>



ブラック<202>



ダークレッドマイカメタリック<3Q3>



ブロンズマイカメタリック<4S2>



ジェイドグリーンマイカメタリック<6S9>



ブルーマイカ<8M6>

● 標準設定 ▲ 設定あり

トヨタ プリウス内外配色一覧表

		内装色	
		グレー	アイボリー
スーパーホワイトII	<040>	●	▲
ホワイトパールクリスタルシャイン*	<062>		●
シルバーメタリック	<1C0>	●	
ブラック	<202>	●	
ダークレッドマイカメタリック	<3Q3>		●
ブロンズマイカメタリック	<4S2>		●
ジェイドグリーンマイカメタリック	<6S9>		●
ブルーマイカ	<8M6>	●	

*ホワイトパールクリスタルシャイン(062)はメーカーオプション(3.0万円)となります。

トヨタ プリウス主要装備一覧表

標準装備 メーカーオプション (ご注文時に申し受けます) 販売店装着オプション

		S		G		全車標準装備
			"ツーリングセレクション"		"ツーリングセレクション"	
■タイヤ&ホイール	185/65R15 88S+15×6JJアルミホイール(ホイールキャップ付)					
	195/55R16 86V+16×6JJアルミホイール(ホイールキャップ付)					
	スペアタイヤ 応急用タイヤ(T125/70D16)					
	バンク修理キット					
■足まわり	ECB(電子制御ブレーキシステム)					●スタビライザー(フロント・リヤ) ●EBD付ABS(アンチロック・ブレーキシステム) ●ブレーキアシスト
	S-VSC(ステアリングアシスト・ビークル・スタビリティ・コントロール)					
	モーターTRC(モーター駆動トラクションコントロール)					
	専用チューンドサスペンション					
■外装	フロアアンダーカバー(フロント・センター・リヤ)					●スバツ(フロント・リヤ) ●LED式ハイマウントストップランプ(スポイラー付) ●UVカット機能付ウインドシールドガラス(グリーン・合わせ) ●UVカットグリーンガラス (フロントドア(撥水機能付)・フロントクォーター)
	リヤスポイラー		大型		大型	
	リヤバンパースポイラー					
	UVカット機能付ソフトプライバシーガラス(リヤドア・リヤクォーター・バックドア)					
■視界	間欠リヤワイパー *1	1.4万円	1.4万円	1.4万円	1.4万円	
	ウオッシャー連動時間調整式フロントウインドシールドワイパー(セミコンシールド)					
	2灯式ヘッドランプ ハロゲン					
	ディスチャージ(オートレベリング機能付)					
	フロントフォグランプ					
	リヤフォグランプ *2					
	リヤウインドウデフォグガー(タイマー付)					
	ウインドシールドワイパーデアイザー(熱線式) *2					
電動格納式ドアミラー(リモコンカラード) *3						
■計器盤・操作性	クルーズコントロール					●チルトステアリング ●デジタルスピードメーター(メーター照度コントロール付) ●フェUEL残量警告灯 ●半ドア警告灯 ●シートベルトリマインダー(運転席・助手席) ●フェUELリッドオープナー ●ランプ消し忘れブザー ●キー抜き忘れウォーニング (ブザー&アンロック機構) ●パワーウインドウ(フロント・リヤドアワンタッチ式・挟み込み 防止機構付) ●電波時計
	4本スポークステアリングホイール(精円型/スイッチ付)	ウレタン	ウレタン	本革巻き	本革巻き	
	電動パワーステアリング(車速感応型)					
	エレクトロシフトマチック					
	ワイヤレスドアロックリモートコントロール(アンサーバック機能付)	リモートコントロールキー2個	リモートコントロールキー2個	リモートコントロールキー2個	リモートコントロールキー2個	
	スマートエントリー(運転席・助手席・バックドア)&スタート					
	インテリジェントパーキングアシスト(カラーバックガイドモニター機能付) *4					
	アッシュボタースタート					
EMV(エレクトロマルチビジョン)						
■シート	6.4分割可倒式リヤシート					●リヤセンターアームレスト ●シートバックポケット(運転席・助手席) ●チャイルドシート固定機構付リヤ シートベルト ●ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー(リヤ左右席トッパーアンカー付) ●アジャスタブルショルダーベルトアンカー(フロント) ●プリテンションナー&フォースリミッター付フロント シートベルト(運転席テンションリリユーザー付) ●全席ヘッドレスト(上下調整式)
	フルファブリックシート表皮	スウェード調	スウェード調	スウェード調	スウェード調	
	運転席シート上下アジャスター(シート一体可動リフター)					
	全席ELR付3点式シートベルト					
■内装	デュアルステージSRSエアバッグ(運転席・助手席)					●フロントオーバーソールランプ ●デッキアンダートレイ ●大型リヤコンソールボックス(スライド式・カップホルダー 4個) ●オーバーヘッドコンソール(マップランプ・ブッシュオープンケース付) ●運転席・助手席バンティミラー 付ファブリック張りサンバイザー(運転席カードホルダー付) ●トノカバー ●アシストグリップ(フロント2・リヤ2) ●コンライト ●ラゲージルームランプ ●ドアポケット(運転席・助手席) ●グローブボックス大型2段 ●サイドウォークスルー ●ドアカーデシラン
	SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ	6.0万円	6.0万円	6.0万円	6.0万円	
	イルミネーテッドエントリーシステム (キースロット+ルームランプ・マップランプ)					
	(キースロット+ルームランプ・マップランプ・ステップランプ)					
■ナビ・オーディオ	G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV(エレクトロマルチビジョン) *4	音声認識マイク付・TVチューナー・ガラスアンテナ付き 23.0万円				
	(JBLプレミアムサウンドシステム)				6.1万円	
	インダッシュ6連素CDチェンジャー+MD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ(9スピーカー)	4.8万円	4.8万円			
	インダッシュ6連素CDチェンジャー+MD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ(6スピーカー)					
■空調・その他	CD+AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ(6スピーカー)					●サイドデフロスター(運転席・助手席) ●牽引フック(フロント&リヤ) ●工具(ジャッキ・ジャッキハンドル・ハブナットレンチ)
	電動インバータエアコン(クリーンエアフィルター・湿度センサー付)					
	リヤヒーターダクト					
	寒冷地仕様 *5	2.2万円	2.2万円	2.2万円	2.2万円	
	盗難防止システム(エンジン・モーターイモビライザーシステム)					

- *1.寒冷地仕様選択時に選択可能です。
- *2.寒冷地仕様選択時に同時装着されます。
- *3.寒冷地仕様選択時はヒーター付になります。
- *4.G-BOOK対応DVDボイスナビゲーション付EMV(エレクトロマルチビジョン)とインテリジェントパーキングアシスト(カラーバックガイドモニター機能付)はセットでメーカーオプションとなります。
- *5.北海道地区には寒冷地仕様が標準装備となります。

- "ツーリングセレクション"はグレード名称ではありません。
- メーカーオプションはご注文時に申し受けます。メーカーの工場では装着するためご注文後はお受けできませんのでご了承ください。
- 価格はメーカー希望小売価格で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは販売店におたずねください。
- 保険料、税金(含む消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。

トヨタ プリウス主要諸元表

■グレード		S	G	
■車両型式・重量・性能	車両型式	ZA-NHW20-AHEEB*1★	ZA-NHW20-AHEGB*1★	
	トランスミッション	電子制御式無段変速		
	車両重量	kg 1,250*2	1,270*2*3	
	車両総重量	kg 1,525*2	1,545*2*3	
	最小回転半径	m 5.1		
燃料消費率 10・15モード走行(国土交通省審査値) km/l		35.5*4	33.0*4	
■寸法・定員	全長	mm 4,445		
	全幅	mm 1,725		
	全高	mm 1,490		
	ホイールベース	mm 2,700		
	トレッド	フロント	mm 1,505	
		リヤ	mm 1,480	
	最低地上高	mm 145		
	室内	長	mm 1,890	
		幅	mm 1,440	
		高	mm 1,225	
乗車定員	名 5			
■エンジン	型式	1NZ-FXE		
	種類	水冷直列4気筒横置DOHC		
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン		
	総排気量	l 1,496		
	内径×行程	mm 75.0×84.7		
	圧縮比	13.0		
	最高出力(ネット)	kW(PS)/r.p.m.	57(77)/5,000	
	最大トルク(ネット)	N·m(kg·m)/r.p.m.	115(11.7)/4,200	
	燃料供給装置	電子制御式燃料噴射装置(EFI)		
	燃料タンク容量	l 45		
■モーター	型式	3CM		
	種類	交流同期電動機(永久磁石同期型モーター)		
	最高出力	kW(PS)/r.p.m.	50(68)/1,200~1,540	
	最大トルク	N·m(kg·m)/r.p.m.	400(40.8)/0~1,200	
■動力用主電池	型式	ニッケル水素電池		
	個数	28		
	接続方式	直列		
■減速比	容量	Ah 6.5(3時間率容量)		
	減速比	4.113		
■ステアリング・サスペンション・ブレーキ	ステアリング	ラック&ピニオン		
	サスペンション	フロント	ストラット式コイルスプリング(スタビライザー付)	
		リヤ	トーションビーム式コイルスプリング(スタビライザー付)	
	ブレーキ	方式	油圧・回生ブレーキ協調式	
フロント		ベンチレーテッドディスク		
リヤ	リ・ディンクドレーシング			
■駆動方式		前輪駆動方式		

●燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備等の状況)が異なってきますので、それに応じて燃料消費率が異なります。

★印の車両は、クリーンエネルギー車の普及促進税制の適合車です。ご購入時に自動車取得税の軽減措置が受けられます(平成17年3月31日まで)。また、ご購入の翌年度の自動車税について軽減措置が受けられます(平成16年3月31日までの新車登録車を対象)。除くウェルキャブ。詳しくは販売店におたずねください。

●主要燃費向上対策としてハイブリッドシステム、自動無段変速機、可変バルブタイミング、電動パワーステアリングを採用しています。

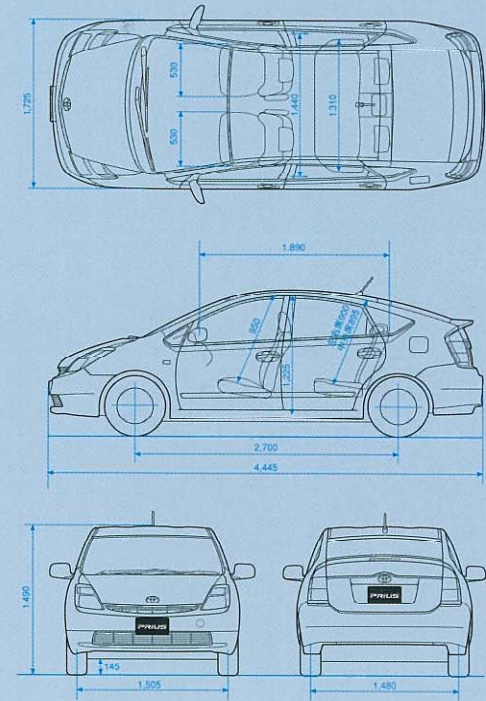
- *1. “ツーリングセレクション”の車両型式の末尾には(T)が付きます。
- *2. “ツーリングセレクション”はそれぞれ+20kgとなります。
- *3. JBLプレミアムサウンドシステム装着時は+10kgとなります。
- *4. “ツーリングセレクション”は、30.0km/lです。

●エンジンの出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。

■“PRIUS” “THS II” “ECB” “VSC” “TRC” “BEAMS” “VVT-i” “EFI” “GOA” “TSOP” “Welcab”はトヨタ自動車(株)の商標です。

■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値 ■製造事業者:トヨタ自動車株式会社

■寸法図(単位mm) G “TOURING selection”



3年間の安心を「バック」にしました。
スマイルパスポート

※詳細につきましては販売店にお問い合わせください。一部の販売店ではお取り扱いしておりません。

トヨタ ウェルキャブシリーズ

フレンドマチック取付用専用車

Photo:S フレンドマチック取付用専用車。
ボディカラーはシルバーメタリック(1C0)。
専用運転席パワーシートは架装メーカーオプション。



助手席回転スライドシート車 "Aタイプ"

Photo:S 助手席回転スライドシート車 "Aタイプ"。
ボディカラーはシルバーメタリック(1C0)。



助手席回転スライドシート車 "Bタイプ"

Photo:S 助手席回転スライドシート車 "Bタイプ"。
ボディカラーはブルーマイカ(8M6)。移乗機構付車いすは、架装メーカーオプション。



参考資料 国や地方自治体の主な助成措置

身体障害者の方の自動車の購入や運転に際し、国や地方自治体では次のような助成措置が用意されています。

税制度

- 消費税の非課税
(仕様に依り一部課税となる場合があります。詳しくは販売店におたずねください。)
- 自動車税の減免
- 自動車取得税の減免

貸付・助成

- 自動車購入資金の貸付
- 自動車改造費の助成
- 有料道路通行料金の割引
- 自動車運転の技能習得費の助成
- 駐車禁止規制の適用除外
- 補装具の交付・修理

詳しくは最寄りの福祉事務所・税務署・都道府県税事務所・警察署に事前にお問い合わせください。



トヨタは、お体の不自由な方や高齢の方が、より快適に移動できるよう運転や乗り降りを助ける機能を装備したクルマをウェルキャブシリーズとしてラインアップしています。

豊富な車種、選べるやさしさ。トヨタウェルキャブシリーズ。

フレンドマチック	助手席リフトアップシート車	車いす仕様車
助手席回転スライドシート車	サイドリフトアップシート車	後席回転シート仕様

トヨタウェルキャブ総合展示場

- トヨタハートフルプラザ札幌 TEL. 011-611-8739 営業時間 10:00~18:00
- トヨタハートフルプラザ名古屋 TEL. 052-400-8739 営業時間 10:00~18:00
- トヨタハートフルプラザ千葉 TEL. 043-241-1488 営業時間 10:00~19:00
- トヨタハートフルプラザ神戸 TEL. 078-366-1616 営業時間 10:00~18:00
- トヨタハートフルプラザ福岡 TEL. 043-302-8111 営業時間 10:00~18:00
- トヨタハートフルプラザ広島 TEL. 082-501-1222 営業時間 10:00~20:00
- トヨタハートフルプラザ東京 TEL. 03-3332-3811 営業時間 10:00~18:00
- トヨタハートフルプラザ福岡 TEL. 092-477-6187 営業時間 10:00~18:00

お問い合わせ トヨタ自動車株式会社お客様相談センター
営業時間 月~金曜日(祝日を除く) 9:00~12:00, 13:00~17:00

全国共通フリーコール  0800-700-7700

詳しくは www.toyota.co.jp/welcab



●プリウスウェルキャブは特装車 (TECS) のため、持ち込み登録となります。低燃費、低公害車の普及促進税制の軽減措置は適用されません。詳しくは専用カタログをご覧ください。

住まいの夢を。トヨタホーム。
トヨタホームは、部材の生産・組み立てから自社の工場、及び協力工場で責任をもって行っています。高品質・低コスト、そして高度なエコロジー性を追求。その性能の高さは、自動車と並ぶ信頼を獲得しています。

※トヨタホームは一部地域ではお取り扱いしておりません。

www.toyota.co.jp/home



暮らしの夢を。ティーエスクービックカード。

お客様の夢、ライフプラン実現に向けて、お客様の立場に立った金融サービスをお届けします。『カード』『割賦リース』『保険』『証券』等、トヨタならではの幅広い商品、サービスを用意しております。

ts3card.com



ITの夢を。PiPit。

携帯電話・びびっとフォンなどの通信商品、ヘルプネットなどのITS商品をショールームに展示。実際に見て、触れて体験できる楽しいコーナーをつくりました。商品の説明から購入、アフターサービスまで、PiPitナビゲーターにご相談ください。

www.pipit.ne.jp/



赤い鳥が夢を。トヨタT-UP。

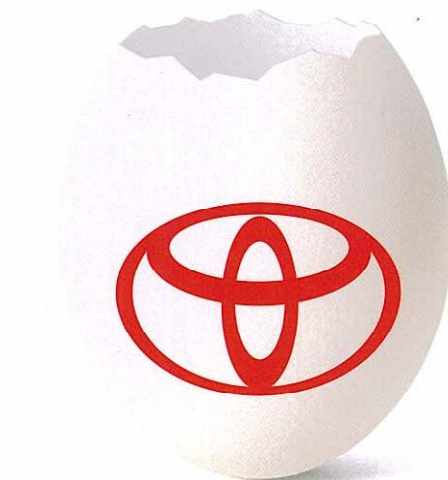
T-UPは、トヨタならではの国内最大級のU-Car販売ネットワークと、車に対する確かな目を生かして、メーカーを問わずクルマを買い取りいたします。

www.toyota.co.jp/t-up/



生まれています。 新しい夢。

豊かな暮らしの未来へ。
トヨタの新事業がつぎつぎに生まれています。



Drive Your Dreams.

人、社会、地球の新しい未来へ。 TOYOTA

マルチメディアの夢を。GAZOO.com。

新車、U-Carの情報から音楽CDの販売、ホテル予約まで、会員向けサービスをインターネットで提供するガズー。今後は全国のトヨタ販売店やコンビニなどにマルチメディアキオスク端末を設置し、いつでもどこでも楽しめる情報ネットワークへ進化していきます。

gazoo.com



便利なカーライフの夢を。トヨタレンタリース。

いつでもどこでも、豊富なトヨタの車種ラインアップからお気に入りの一台をお選びください。ご予約は、国内はもちろん、海外からもOK。全国1,100の店舗でお待ちしております。今度の週末いかがですか？

www.toyota.co.jp/rent



物流の夢を。トヨタL&F。

ご存知ですか？トヨタの物流システム。トヨタL&F(ロジスティクス&フォークリフト)は、トヨタ独自のノウハウをベースにお客様に最適なロジスティクス・ソリューションを提供いたします。さまざまな物流シーンで活躍します。

www.toyota-lf.com



海への夢を。トヨタマリン。

「クルージング」。21世紀に向けた、海と人との新しいコミュニケーションのカタチ。海の楽しさを手軽に味わう。海を満喫する。海を愛する方々のために高品質・高性能なボートをお届けします。私たちは、トヨタマリンです。

www.toyota.co.jp/marine



いろんなクルマと比較もできる。詳しくは!
www.toyota.co.jp/prius

スピードはひかえめに。シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。(このカタログの内容は'03年11月現在のもの) ボディカラー および内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。

このカタログに関するお問い合わせは、
お近くのプリウス取り扱い販売店
または下記のお客様相談センターへ


トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール ☎0800-700-7700

所在地 〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目10の27

第2豊田ビル西館7階

オープン時間 月曜～金曜(除く祝日)

9:00～12:00 13:00～17:00

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。  TOYOTA

PG0010-0311